

「水源連・石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会」からのお願い

石木ダム中止に向けての絶大なご支援を!

2 13 世帯住民 ; 「無駄な石木ダムには絶対に居住地を明け渡さない!!!」

2013年9月6日、国土交通省九州地方整備局は石木ダム事業について反対派地権者・居住者の強制排除(強制収用)の門戸を開く法的措置(土地収用法の適用)として、事業認定処分を下しました。強制収用への道を事業者である長崎県と佐世保市に断念させることがこれからの私たちの課題です。

石木ダム事業予定地には13世帯約60人が「全く無駄な同事業に自分達の住み慣れた居住地は絶対に明け渡さない」と50年以上にわたって反対を貫いて居住されています。彼らの言い分は「ここは素晴らしい所。ずっと住み続けたいだけ」です。彼らの居住地「こうばる」には、緑に囲まれた素晴らしい自然のなかで、お互いをしっかりと支え合っている地域社会が成り立っています。強制収用の脅しがつけている隙はありません。

2 石木ダムは不要なダムです。

石木ダムには石木川が合流する地点から下流の川棚川下流域の洪水対策、佐世保市の水道水源開発、正常な河川機能の維持、がその目的とされています。

石木ダムの受益予定者とされている佐世保市民には全く不要な水源開発とそれに付随した事業のために巨額な負担を強います。水需要が低下するばかりの佐世保市水道が財政逼迫に直面するのは目に見えています。治水面でも石木ダムで川棚川下流域の内水氾濫を防ぐことは出来ません。河川の正常な機能維持に必要な流量は現在既に満たされています。

利水: 将来共に水は足りています。

① 佐世保市水道の需要は減り続け、水源に余裕があります。

佐世保市水道の水需要は1999年度から減り続けています(図1参照)。2011年度の一日最大取水量は82,400 m³/日まで落ち込んでいます。

佐世保市は安定水源が77,000 m³/日しかないとしています。渇水時のデータを見ると、不安定水源とされている水源が少なくとも15,000 m³/日以上使われていますので、実際の安定水源は92,000 m³/日以上あります。

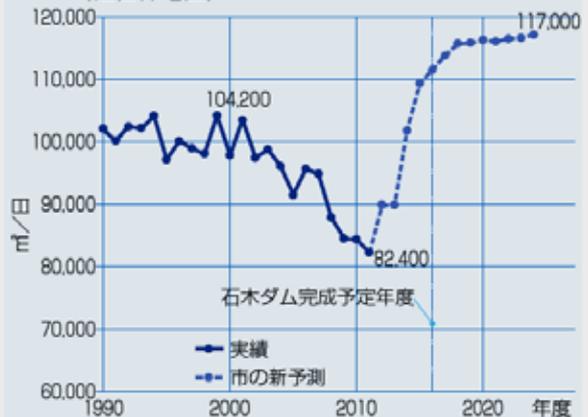
現状では保有水源に約1万m³/日以上上の余裕があり、水需給に不足をきたすことはありません。

② 架空の予測を続ける佐世保市

佐世保市水道の水需要が1999年度から減り続け、2割も減っているのに、佐世保市はこの実績の傾向を無視し、2014年度からV字回復して急増していく架空の予測を行っています(図1参照)。石木ダムの予定水源4万m³/日が将来は必要となるように、数字をつくりあげているのです。

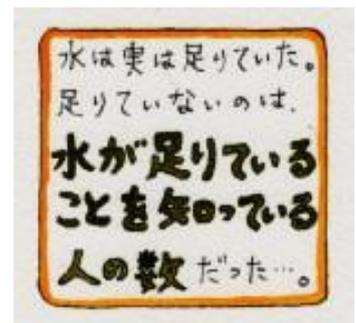
実際には佐世保市水道の需要は人口の減少と節水型機器の普及によって、今後も減少傾向が続いて、水需給の余裕度が次第に高まっていきますので、石木ダムの水源が必要となることはありません。

図1 ■ 佐世保市水道の1日最大取水量の実績と市予測 (佐世保地区)



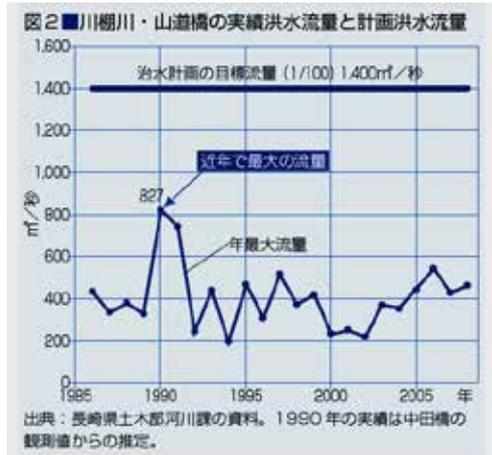
出典: 佐世保市水道局の資料

一日最大取水量の実績は一日最大給水量の実績からの換算値を示す。この換算には2007~11年度の利用率の実績平均97.4%を用いた。



治水:石木ダムの建設では近年最大の洪水「1990年7月洪水」が再来した場合の浸水被害を防ぐことができません。

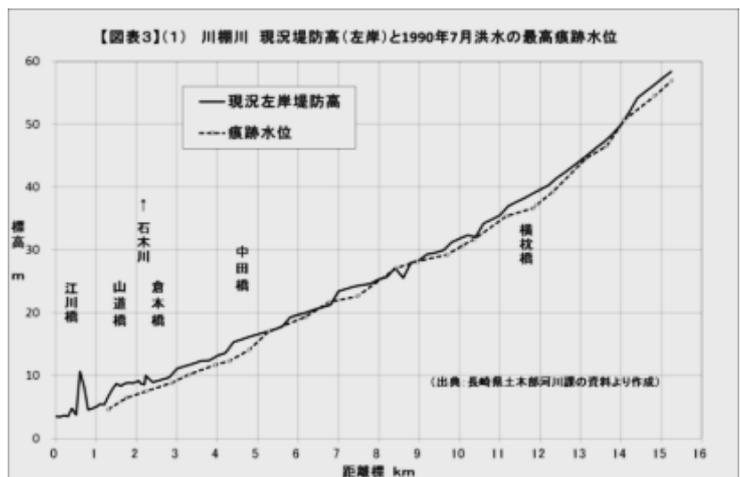
- ① 石木ダムは川棚川下流部に合流する石木川に造るダムで、川棚川の治水対策としてなぜこのような場所をつくるのか、もともと不可解なダムです。
- ② 石木ダムが治水計画で必要となるのはきわめて大きな洪水が来た時（近年最大洪水の約 1.7 倍、図 2 参照）だけで、必要性が希薄です。ただし、この洪水が来ても川棚川は溢れません。
- ③ 近年最大の洪水（1990年）では川棚川下流域で浸水が生じていますが、川棚川の痕跡水位が堤防高を下回っていたことから、川棚川はあふれていなかったことが分かります。



石木ダム事業に河川予算が使われ、本来必要な川棚川の治水対策（堤防整備・強化、河床掘削など）がなおざりにされています。

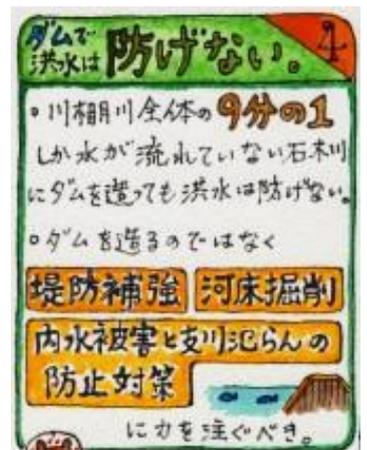
○川棚川流域の浸水を防止するために早急に取り組むべきことは次の3点であり、石木ダムの建設ではありません。

- 川棚川下流部の野口川等の支川氾濫、内水氾濫を防止する対策
- 河口近くの下流部（川棚橋から河口までの約 600mの区間）の堤防整備
- 川棚川全体の河床の掘削



2 石木ダム中止に向けてご協力を

12月5日に石木ダム中止弁護団結成集会・住民決起集会が現地・こうばる公民館で開かれました。石木ダム事業による被害者は強制収用の対象とされている13世帯60人の住民だけではなく、このような全く無駄な事業に貴重な財源を使われてしまう長崎県民・佐世保市民です。現地では弁護団と共に、長崎県知事・佐世保市長に対する「石木ダム中止」にむけた諸行動、同県民・市民への働きかけ、訴訟の準備等の取り組みを開始しています。12月27日には長崎県知事に同ダムの必要性に関する公開質問状を提出しました。知事との公開討論会を弁護団と住民運動との連帯で実現させる、と頑張っています。



全国の皆さま、「水源連・石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会」の会員になって頂き、物心両面でのご支援をよろしくお願い致します。年会費3000円です。カンパもよろしくお願い致します。

2 「水源連・石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会」

水源連として石木ダム建設絶対反対同盟を支援し、石木ダム中止に向けて取組みます。

○ 問合せ先: 水源連事務局 045-877-4970 mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp

2 石木ダム問題 参照 HP: <http://suigenren.jp/damlist/dammap/ishikidam/>

○ 入会、カンパ等の送付: 同封の払込用紙、もしくは、ゆうちょ銀行備え付け用紙にてお願いします。

2 ゆうちょ銀行当座口座 石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会 00270-9-136202